

令和6年度 まちづくり懇談会（タウンミーティング）議事録

会 議 名	タウンミーティング【手をつなぐ育成会】
開催日時	令和6年8月22日（木）午後1時30分～3時
場 所	コミュニティセンター 2階会議室
公開・非公開の別	公 開 ・ 非公開 ・ 一部公開
非公開の理由 （非公開の場合のみ）	個人を特定する情報については非公開とする ※「まちづくり懇談会実施要領」 10 懇談内容の公表 町民に対して積極的な情報提供を行う観点から、懇談会における懇談内容は、団体名や個人名を特定しない形式で、町広報紙や町ホームページで公開する。
議題	・健康福祉課の職員配置について ・8月7日の豪雨の被害状況について ・グループホームの増設・人材確保について ・障がい者の皆さんが行きやすい場所について ・コロナワクチンの補助について
出席者	団体：手をつなぐ育成会 11名 社会福祉協議会 町：町長、健康福祉課、秘書室
【懇談内容】 1 健康福祉課の職員配置について 団体：健康福祉のスペシャリスト、健康福祉に特化した人材、経験の長い人材が健康福祉課にいて対応に当たってくれと安心です。手続き等もスムーズにやっただけだと思います。 健康福祉課の業務は、様々な計画等の作成から実行、また障がい者本人だけでなく、その家族の問題なども含め、複雑な手続き等の対応もあります。 以前、様々なサービスの更新の連絡等が遅いときがあり、心配された会員もありました。 町長：健康福祉課の業務は多岐にわたり、できればスペシャリストを配置したいとは思っていますが、小さい町で人材が限られています。また、健康福祉課のみでなく他課からもスペシャリストを求められており、長期間一つの課に在籍させることは難しいのが現状です。 定期的な人事異動は各課の様々な業務を経験し、必要な職務能力を向上させることを目的としております。人事異動でさまざまな経験を積むことにより、物事を	

多角的にとらえる力を培えるものと考えています。また、培った知識・能力を活かせるよう、長期間在籍させるのではなく、一度経験した課へ呼び戻す人事は行っております。

人事については、町全体を見て行っておりますので、ご理解をいただきたいと思っています。

また、連絡等が遅いことがあるとのことですが、職員一人ひとりが町民の方の気持ちに寄り添った対応をすることで、心配されることがないように努めてまいります。

団体：職員の異動で手続きが滞ることがないようにしてほしいです。

町長：異動の際は新たに配属した職員のスキルアップが重要になります。また、法律や手続き方法など、数年でかわることもあります。職員間の引継ぎを丁寧に行い、手続きが滞ることがないように指導をしてまいります。

2 8月7日の豪雨の被害状況について

団体：8月7日の豪雨の被害状況はいかがだったでしょうか。

幸いにも近隣より雨量が少なかったのか？

それとも排水状況が良かったのか？などをお聞きしたいです。

町長：被害状況は、一部、県道岩殿観音南戸守線や上伊草地区の町道において道路冠水した場所がありました。また、ライフラインにおいても、8日午前2時位に30分程度、宮前地区及び牛ヶ谷戸地区、山ヶ谷戸地区において、断線による停電が約200戸ありましたが、大きな被害はありませんでした。

総雨量は川島町の雨量計で124.5mm、1時間雨量としては最大87.5mmを記録しました。近隣では、1時間当たり、ときがわ町で120mm、川越市、鶴ヶ島市、鳩山町で約100mmの雨が観測され、川島町は近隣よりも比較的雨量は少なくて済みました。

団体：情報発信ではかわべえメールやLINEで河川水位の状況が送られてきてホッとしました。今後、ホームページやLINEに、川の状況がわかるサイトを張り付けていただけたらと思いましたが、いかがでしょうか？

町長：現在、町ホームページに「国土交通省 川の防災情報」を掲載しております。皆さん、かわべえメールを見ていただいているようで、ありがたく思います。

団体：川島町が災害に負けない町でありますように。水害対策などをお伺いします。

町長：内水対策として、横塚川については樋管を新たに造る予定です。また、安藤川の整備区域の延伸については、かねてから県に要望しており、この度、2.9kmの測量と詳細設計を行っていただけることになりました。また、高台避難場所の整備も進めていまして、早めに工事に着手できるよう調整しております。

川島町は川に囲まれておりますが、排水路の整備など、水害に負けない町にしようとして事業を進めているところです。

3 グループホームの増設・人材確保について

団体：社会福祉法人ウィングが第2グループホームを開所しました。ご尽力ありがとうございます。しかしながら、まだまだグループホームに入りたい人がたくさんいます。この先のグループホーム建設も進んでほしいですし、人材確保も難しい問題のようです。また、福祉施設等の施設整備に使う費用の補助（駐車場整備など）は難しいですか？

町長：社会福祉法人ウィング第2グループホームが開所になり、私もホッとしているところです。

新たなグループホーム建設・人材確保ということですが、どこも人手が足りていないのが現状です。費用を補助したい気持ちはありますが、限りある予算の中で執行しているため、現状では、福祉施設等の施設整備に係る補助金等の交付予定は難しい状況です。

4 障がい者の皆さんが行きやすい場所について

団体：なかなか新しい場所や環境・グループに入っていくことが難しい我が子たちです。伊草地区の古民家は、障がい者の皆さんたちも来てもらえるような場所にしたいとの話がありましたが、現在はいかがでしょうか？

町内の障がい児・者が行きやすいところ（おちつけるところや楽しめる場所）が増えてほしいと思っています。

町長：伊草地区の古民家は、町民の方だけでなく、町外の方も気軽に訪れることができる場にしていきたいと考えています。また、建物やトイレに関しても、バリアフリー化への改修を検討し、多くの方が利用できる場にしていく予定です。

現段階の予定ですと、令和7年度中には母屋をはじめとした、建物のリフォーム等を実施し、その後、本格的な運用の開始を予定しております。

現在の活用状況としましては、試行的な利活用を進めており、イベントなどの企画開催を検討しているところです。8月28日（水）には、伊草子ども食堂が古民家を活用した夏祭りを実施する予定となっています。

また、新たに鳥羽井沼周辺地域の開発について、民間事業者と連携して進めています。いずれの施設も、障がいのある方ない方関係なく、楽しめる施設にしていきたいと考えています。

5 コロナワクチンの補助について

団体：コロナワクチンについて、重症化予防のための補助、ありがたいです。

補助の出る接種対象者を障がい者にも広げるのは難しいですか？

町長：コロナワクチン接種は、令和5年度は臨時接種として無料で実施しました。令和6年度は定期予防接種として位置づけられ、65歳以上の方、60～64歳の心臓、腎臓、呼吸器等の障がいのある方（身体障害者手帳1級相当）、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害がある方が対象となります。国の方針のため、対象者を拡充するのは厳しいと考えております。

また、コロナウイルスは1年中注意が必要なため、接種の時期等も悩まれると思います。

さらにコロナワクチン代が定まっておらず、国が示した接種費用の見込みは、1人あたり15,000円～18,000円となっています。今後の状況で、金額も変わってくるかもしれません。副反応などのリスクもあるため、医師と相談していただき、接種をお考えいただきたいと思います。